

町長
現在、国の厚生科学審議会において、ワクチン接種による効果や安全性などについて議論されており、予防接種法に基づき定期接種としての検討が行われている。
带状疱疹ワクチンは、予防接種法で任意接種となっており、個人の判断

ワクチン助成をしている自治体は689市町に達しているが、本町が遅れている理由は。

柚木 喬 議員



により接種するワクチンとされているが、今後、定期接種として位置づけられた場合は自己負担額が抑えられ、町が負担する費用に対する交付税措置がされることから、引き続き国の動向を注視している。

議員
定期接種化される前に町独自の助成をしては。
民生部長
令和5年3月議会でも同じ質問があったが、町ではその1年半前からストレスにより带状疱疹を訴える町民がいるのとことで調査してきた。
その結果、現在、国の厚生科学審議会が効果や安全性について調査、検討が行われているのとことで、国の動向を注視し、国に準じて行っていく。

教育長
義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の二年間のいわゆる「架け橋期」において一人一人に配慮した、すべての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指すことである。

幼保小の架け橋プログラムとは。

池脇 雅彦 議員



遊びの中で学ぶ「架け橋期」

議員
ただ遊ばせているだけという誤った認識に対しては。
教育長
地域公開保育、保育参観、小学校との交流や中学生の保育実習を通して、保護者や教職員に理解を求めていく。

議員
デジタル化は町にどのような効果をもたらすか。
町長
デジタル化は、地域密着・住民密着の推進に必要不可欠であるが、高齢者などが取り残されないよう、デジタルとアナログの併用を念頭に改革を進めていく。

議員
幼保小の接続・連携にかかる本町の将来構想は。
教育長
民生部、教育委員会をはじめ行政が一体となり、幼保小中学校を繋ぎ、情報を共有し取り組む。
その他「町長が目指すデジタル化の推進を問う」も質問した。

带状疱疹

町 定期接種に位置づけられるか注視する

带状疱疹ワクチン接種に助成を

教育長
町民の皆様にあられ続けてきた既存のプール施設を有効活用していくことを念頭に置き、今後も安全・安心に利用していただけるよう、必要な補修等を行いながら進めていきたいと考えている。

世の中の状況が大きく変化している中で、プールの環境・安全などは現状のままでよいのか。



中川 ゆかり 議員

町内プール施設

町 安全安心を第一に必要な補修などを行いながら進める

未来の水泳環境を考える「町内プール施設の現状は

議員
各小学校プールの外壁フェンスを、外から見えにくく改修しては。

生涯学習課長
今後、金網フェンスに目隠しシートを張ることができるとかどうか調査・検討をしていく。

議員
温暖化にも関わらず、海洋センタープールの水温が上がらない状況の検証や対策を。

生涯学習課長

外壁フェンスは、平成27年度大規模改修時に外して再度取り付けたため、強度が弱くなっている。現在は穴が開いた箇所にパッチを貼って対応している。
また、天井部分が開いていることも確認しているが、そのことが水温が



目隠しフェンスで安全・安心！

生涯学習課長
近年、猛暑の影響で地面が焼けて滑りやすくなるなどの両方が心配されるので、できる限りの対策を取っていく。

上がらない原因であるかどうか、検証する必要がある。

議員
海洋センタープールの床が滑って危険である。全面に滑りにくい工夫をしては。

町長
平成30年、令和3年の雨量計測及び30年降雨確率の検証結果を基に改修計画を策定したうえで、浸水被害の解消に向けて地区内の排水路改良事業を進めているが、当該区間は排水能力を満たしていることから整備の予定はない。

横浜東二丁目二方通行路に側溝を新設してはどうか。



折中 智 議員

側溝の新設

町 検証結果に基づく改修計画により工事を実施

横浜東二丁目付近の雨水排水対策は

議員
暫定的に当該区間に小型ポンプを設置し、雨水を強制的に排水してはどうか。

町長
小型ポンプの設置についても、排水能力の検証結果から設置の必要はないものと考えている。

議員
近隣住民から雨水排水に対して不安の声があるが、新たに説明会の予定は。

都市計画課長

改修計画の策定、工事の施工に際し、地元の見取りを入れて進めており、改めて説明会を行う予定はないが、住民からの意見は常に聞く体制を取っている。



雨水がたまる横浜東二丁目付近

建設課長
雨量の強さではなく、滞水池の底から15cm溜った際に自動制御で稼働する。

一定の雨量で自動的に稼働する。
住民の方にもわかるように滞水池に目印を付けている。

議員
横浜ポンプ場のポンプ稼働する基準は。

都市計画課長